

主題：神の奥義の執事

メッセージ 30

キリストの配偶者としての召会——シュラムの女の予表

聖書：雅 1:1-4. 3:9-10. 4:12-16. 6:13

I. 「シュラムの女」という名は「ソロモン」の女性形です——雅6:13：

- A. ソロモンは復活し、栄光を現し、昇天し、御座に着いた「その霊」としてのキリストを予表します。シュラムの女はソロモンの女王であり、栄光の中で支配し、彼を享受する「花嫁」としての復活にある召会を予表します——啓 22:17 前半、ルカ 24:26. ヨハネ 7:37-39. 詩 45:8-15。
- B. 小羊の婚宴は将来においてですが、復活の中でわたしたちはすでにキリストと結婚しており、わたしたちの再生された霊とミングリングされた霊の中にある新エルサレムの縮図である結婚生活をしています（神聖な霊とわたしたちの人の霊の結婚の結合であり、わたしたちを彼の花嫁とし、彼に結合させて一つ霊とします）——ヨハネ 3:6, 15-16, 29-30. I コリント 6:17。
- C. キリストの復活は、神の長子としてのわたしたちの夫、すなわち「その霊」の第二の誕生であり、神の多くの子たちであるキリストの再生された肢体から成る「花嫁」を再生することでした。——ローマ 1:3-4. 8:29. I ペテロ 1:3. 啓 22:17 前半. 参照、12:5。
- D. 雅歌におけるロマンスが描写しているのは、キリストを追い求める者が過程を経過して、彼の究極的に完成された花嫁、シュラムの女、ソロモンの複製、新エルサレムの型となるということです。

II. 「ソロモン王は、レバノンの木で自分のために輿を造った。その支柱は銀、基は金、その座席は紫色の布で造った。その中に、『エルサレムの娘たちから愛を込めて』と縫い取りされていた」——雅3:9-10：

- A. わたしたちの中でのその霊の造り変える働きによって、わたしたちはキリストの輿、キリストの動く器、キリストの馬車、キリストの「車」となります。それはキリストのからだの中の、またキリストのからだのためのキリストの行動のためです——参照、II コリント 2:12-17。
- B. わたしたちは神聖な三一で再建造されます。それによってわたしたちの外側の構造は復活し、昇天したイエスの人性となり、わたしたちの内側の装飾はキリストに対するわたしたちの愛となります——雅 3:9-10：
 - 1. ソロモン王としてのキリストがご自身のためにわたしたちに輿を造ります。わたしたちの責任は、ただ彼に対するわたしたちの愛をささげ、自分自身を進んで彼にささげることです——ヨハネ 21:15-17. 詩 110:3.
 - 2. わたしたちの内なる存在は、「愛で縫い取りされて」いるべきです（雅 3:10）。主を愛することは、キリストをわたしたちの人性とするという領域の中にな

わたしたちを保ち、彼の愛によって押し迫ることにおいてわたしたちの人性を保護します（Ⅱコリント 5:14）。

- C. わたしたちが個人的で、愛情に満ちた、ひそかな、霊的な方法で主を愛することを通して、わたしたちの天然の存在は引き裂かれ、わたしたちはキリストの贖いの死（銀でできた柱）、神の神聖な性質（基）、わたしたちの内側で支配する命を与える霊としてのキリストの王職（紫色の座席）で再構築されます——雅 3:10. 参照、ローマ 8:28-29. Ⅱコリント 4:16-18。

Ⅲ. 「わが妹、わが花嫁は、閉じられた園、閉じられた泉、封じられた水源である…
…園の水源、生ける水の井戸、レバノンからの流れである」——雅 4:12, 15. 参照、Ⅰコリント 3:9. 創 2:15 :

- A. ここで園が閉じられており、閉じられた園、閉じられた泉があつて、それがキリストの秘密の享受のためであることが示しているのは、キリストを経験することにおいて、わたしたち追い求める信者たちがキリストのためだけに、秘密の、隠された、閉じられた、封じられたものを持たなければならないということです。
- B. 園の泉と命を与える霊の生ける水の井戸は、復活と昇天の命（レバノン）からの流れです。水源と泉は勝利者たちかれ流れ、彼らであるものから、また彼らがいる所から流れ出ます——ヨハネ 7:37-39。
- C. 父なる神は源泉であり、子なる神は泉であり、霊なる神は流れる流れであり、それはわたしたちが新エルサレムとなるためです—— 4:14 後半。
- D. わたしたちはキリストが享受するために、キリストを享受します。主はわたしたちにとってすべてであり、それによって主はわたしたちからのすべてを享受することができます——雅 1:12-14. 4:12-14. 5:1 :
1. わたしたちは自分自身を主にささげた後、主のものですが、主をわたしたちの園の中にもたらすのは絶え間ない献身です—— 4:16 後半. 5:1. 参照、詩 110:3. レビ 6:12。
2. 経験豊かな信者たちは多くの時、後の献身は最初の献身よりも困難であっても、最初のものよりもさらに栄光であることを見いだします。この献身だけが主の労苦の実を主に与えます——参照、エゼキエル 47:1-5。
- E. 「北風よ、目覚めよ。南風よ、来たれ！ わたしの園に吹き、その香りを漂わせよ」——雅 4:16 前半 :
1. 北風（冷たい、厳しい、苦痛な）と南風（暖かい、穏やか、新鮮な）は二つの異なる環境であり、主はそれを用いて信者たちが満ち足りることの秘訣としてご自身を享受することを訓練します——ピリピ 4:11-13, 6-7。
2. 主を追い求める者は、すべての問題が外側からではなく、内側からくことを認識しています。彼女は、三一の神の臨在としてのその霊で満たされる限り、いかなる環境においても喜んでキリストを生き、表現することができることを知っています—— 1:19-21 前半。

Ⅳ. キリストの命の円熟において、キリストを愛する者は、勝利を得たシュラムの女

となります。それは、彼女が結婚のためにキリストの複製、増殖となって、彼にふさわしくなったことを表徴しています——雅 6:13 :

- A. 神の目にシュラムの女は、二つの陣営の踊り、二つの軍勢にたとえられています（ヘブル語、マハナイム）。ヤコブは神の御使い、すなわち、神の二つの軍勢を見た後、彼がいた場所を「マハナイム」と名づけ、彼の妻、子供、所有物を「二つの軍勢」に分けました—— 13 節. 創 32:1-10。
- B. 二つの軍勢の霊的な意義とは、わたしたちはキリストのからだの原則によって、またわたしたちを愛してくださった方を通して、勝ち得て余りがあり、「はるかに超えて勝利を得る」という力強い証しです——ローマ 8:37. 12:5。
- C. 神は、自分自身の中で力強い人たちを欲しておられるのではありません。彼は、貧弱な人、弱い人、女、子供たちだけを欲しておられます——参照、I コリント 1:26-28. II コリント 12:9-10. 13:3-5。
- D. 神は、編まれた髪によって表徴された（雅 1:11）、彼と一になり、彼に服従する人々を欲しておられます。また宝石の首飾りで表徴された（10 節）、柔軟な意志をもって彼に対して従順になる人々を欲しておられます。
- E. 勝利者になるのにふさわしいとされる人たちは、弱く、完全に無力である人々ですが、彼らは完全に依存しています——エペソ 3:8. 啓 3:8. ガラテヤ 2:20。
- F. わたしたちがどのようにして神聖な啓示の高嶺に到達するかを考えると、わたしたちは自分自身に信頼すべきではなく、愛、力、あわれみとしての主に依存して、わたしたちをあわれみの、また誉れの、栄光の器としていただくべきです—— 9:16, 21-23. 雅 8:5-6。
- V. 手順を経て究極的に完成された三部分から成るシュラムの女になる道は、主との個人的で、愛情に満ちた、ひそかな、霊的な関係を持つことです—— 1:1-4 :
- A. 「わたしを引き寄せてください」は、主との個人的な関係を示しています—— 4 節前半 :
1. パウロは、キリストの臨在の中ですべてのことを行ない、キリストの目に表されているキリストのパーソン全体の表示にしたがって生き、行動しました——II コリント 2:10。
 2. パウロは、キリストと最も近く、最も親密な接触の中で生き、キリストを彼の生活、模範、目標、力、秘訣としました——ピリピ 1:19-21 前半. 2:5-11. 3:8-14. 4:4-6, 11-13。
- B. 「彼の口の口づけをもって、わたしに口づけしてください」は、主との愛情に満ちた関係を示しています——雅 1:2 前半 :
1. パウロは不朽不滅の中でキリストを極みまで愛し、神の深みであるキリストを認識しました——エペソ 6:24. I コリント 2:9-10。
 2. パウロは認識しましたが、わたしたちが神を愛することは、わたしたちを神に祝福される者とし、神がわたしたちのために備えられた神聖な祝福にあずからせませぬ。それはわたしたちの理解を超えています。またわたしたちが神を愛さないことは、わたしたちを、訴えられる者、のろいのために取っておかれる者とし

ます—— 9 節. 参照 16:22。

3. パウロはキリストの愛に押し迫られ、もはや自分自身に生きるのではなく、キリスト、すなわち彼のために死んで復活させられた方に生きました—— II コリント 5:14-15。

C. 「王はわたしを彼の部屋に連れて行かれた」は、主とのひそかな関係を示しています——雅 1:4 後半. 参照、詩 27:5. 31:20. 83:3. 91:1. 110:3 :

1. 「さて、朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて荒野へ行き、そこで祈られた」——マルコ 1:35。

2. 「あなたは祈るとき、自分の密室に入り、戸を閉めて、隠れておられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、隠れて見ておられるあなたの父は、あなたに報いてくださる」——マタイ 6:6。

3. 「それからすぐ、イエスは強いて弟子たちを舟に乗り込ませて、ご自分より先に向こう岸へ行かせ、その間に群衆を解散させられた。彼は群衆を解散させた後、祈るために一人で山へ登られた。夜になっても、彼は一人そこにおられた」—— 14:22-23。

D. 「彼の部屋」は、主との霊的な関係を示しています——雅 1:4 後半 :

1. キリストはわたしたちを霊的に訪れます。なぜなら、彼はわたしたちの霊の中の命を与える霊であるからです。わたしたちの霊は至聖所であり、歌の中の歌、主の主、王の王である霊なるキリストの部屋です—— 1-2 節. I コリント 15:45 後半. ローマ 8:16. II テモテ 4:22. 参照、II コリント 5:16-17。

2. コリント人への第二の手紙において、パウロはキリストの中にある一人の人 (12:2)、また霊の中にいる人であり (2:13)、キリストのからだのために、油塗る霊、担保を入れる霊、証印を押す霊 (1:21-22)、書き記す霊 (3:3)、命を与える霊 (6 節)、供給する霊 (8 節)、自由にする霊 (17 節)、造り変える霊 (18 節)、伝達する霊 (13:14) を享受しました。

3. キリストのからだのためにキリストと接触し、キリストを享受するために、わたしたちはミングリングされた霊を認識し、用い、顧慮し、活用しなければなりません——エペソ 1:17. 2:22. 3:5, 16. 4:23. 5:18. 6:18